

- +++++
+++++
◇ 学術フォーラム「減災の科学を豊かに」の開催について（ご案内）
◇ 戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）平成26年度 提案募集のご案内
「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域
+++++
+++++

■ 学術フォーラム「減災の科学を豊かに」の開催について（ご案内）

1. 開催日時： 平成26年7月20日（日）13:00～16:45 （12：30受付開始）
2. 開催場所： 日本学術会議講堂
（地下鉄千代田線乃木坂駅5番出口に隣接。
地図 <http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>）
3. 主催：日本学術会議、第18回ISA社会学世界会議（横浜会議）
災害社会学部会・分科会「ジェンダーの視点は災害研究に何をもたらすか」
平成25-27年度文部科学省科学研究費補助金基盤（A）
「社会的脆弱性／レジリエンスの比較ジェンダー分析」
4. 後援：一般社団法人・生活経済政策研究所

5. 開催趣旨：

東日本大震災は、災害が与える影響が一人一人の被災者それぞれに異なることを改めて浮き彫りにした。被害や復興において差異を生み出す要因は、ジェンダー、セクシュアリティ、年齢、障害や病気の有無・種類、国籍・母語、働き方や家族形態、ケア責任の有無・程度、地域の社会的ネットワークなどであり、それらが総合された自治体の減災力である。地域のレジリエンスを増強する取り組みも、そうした要因を組み込むことで、有効性を増すことができる。これらの要因を視野に入れた減災・応急対応・復興支援と調査研究は、日本では、多様性・ジェンダー配慮の視点を持つ少数の災害対応実践者と研究者によって、東日本大震災を契機に本格的に開始された。その後、災害対応や復興の主流である諸分野において、実践面および研究面で、多様性・ジェンダー配慮の視点はいかに取り込まれているだろうか。本フォーラムは、多様性・ジェンダー視点と個別の災害諸科学の接点を探ることを目的とする。

6. 次第：

司会 大沢真理（日本学術会議第一部会員、東京大学社会科学研究所教授）
13：00-14：45

◇開会挨拶

大西隆（日本学術会議会長、豊橋技術科学大学学長）

◇開催趣旨説明・問題提起

池田恵子（日本学術会議特任連携会員、静岡大学教育学部教授）

◇基調講演

エレーン・エナーソン

（ジャクソンビル州立大学防災学部兼任教授）「災害とジェンダー研究の貢献と展望」

◇報告とパネルディスカッション

I. 多様性・ジェンダーの視点で見た東日本大震災

今井 照（福島大学行政政策学類教授）

李 善姫（東北大学東北アジア研究センター専門研究員）

休憩 15分

15：00-16：45

II. パネルディスカッション：災害関連諸科学・政策科学は多様性・ジェンダーをどう見たか

司会：大沢真理、皆川満寿美（東京大学社会科学研究所特任研究員）

パネリストと専門分野

鈴木るり子（岩手看護短期大学地域看護学教授）保健師活動・介護福祉
浦野正樹（早稲田大学文学学術院教授）災害社会学（脆弱性論の観点から）

今井 照（福島大学行政政策学類教授）地域自

立・多様性

佐藤岩夫（日本学術会議連携会員、東京大学社会科学研究所教授）居住法学
矢守克也（京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授）防災教育・地域防災

戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）平成26年度 提案募集のご案内
「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域

■募集概要

（独）科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）では、新たに「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域を設定し、研究提案の募集を開始いたしました。

社会技術研究開発は、社会の具体的な問題の解決を通して、社会的・公共的価値の創出を目指すものです。

本領域では、成熟社会へと移行する中で今後予想される社会的な課題を見据え、多世代・多様な人々との共創の取り組みを通じて、環境、社会、経済などの多面的側面から持続可能とする社会のデザインを目指す研究提案を募集します。

提案にあたっては、社会問題の解決に取り組む関与者と研究者の協働や、自然科学と人文・社会科学の知見の活用、都市・地域を対象とした実践的な研究開発を通じて現実社会の具体的な問題解決に資する成果の創出を目指すとともに、得られた成果の社会への実装、展開を見据えた取り組みを期待します。

【募集期間】平成26年7月7日（月）～平成26年9月1日（月）正午

【研究開発費】1課題 数百万円～30百万円未満／年

【研究開発期間】原則3年

【募集説明会】

領域総括が登壇し、パネルディスカッション等を通じて領域の紹介や募集に向けたメッセージをお伝えします。
また、提案書作成にあたっての留意事項や応募に際しての事務事項を説明します。

○ 東京の部

日時：平成26年7月31日（木）10：00～12：00
場所：科学技術振興機構東京本部別館 1階ホール

○ 京都の部

日時：平成26年8月4日（月）13：30～15：15
場所：TKPガーデンシティ京都 7階 橋

※参加申し込み、プログラム、会場アクセスについては、下記のウェブサイトをご参照ください。

【詳細】最新の情報は、下記ウェブサイトにてご確認ください。
<http://www.ristex.jp/examin/suggestion.html>

【問合わせ先】 (独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター
企画運営室 募集担当
E-mail : boshu@ristex.jp
Tel : 03-5214-0133 (受付時間 : 10 : 00~12 : 00 / 13 : 00~17 : 00)
※ お問い合わせは、なるべく電子メールでお願いします。
※ 土曜日、日曜日、祝祭日を除く。

★-----☆
日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。
アカウントは、@scj_info です。
日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから
http://twitter.com/scj_info

☆-----★

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから
<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

=====

日本学術会議ニューズメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>
〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34